

## 長岡ホノルル平和交流記念事業参加報告（概要）

		報告内容
1	<p>長岡市議会議員団 ホノルル市公式訪問報告</p> 	<p>戦後 70 年という節目の年にあたり、長岡ホノルル平和記念事業に合わせ、8 月 13 日から 17 日まで、関正史議長を含めて 7 名の議員でホノルル市を訪問してまいりました。</p>
2	<p>国立太平洋記念墓地 (パンチボウル)</p> 	<p>ホノルル空港に 13 日の午前中に到着し、訪問団の皆さんとともに昼食をとった後、最初の公式行事会場である国立太平洋記念墓地（パンチボウル）に向かいました。</p> <p>国立太平洋記念墓地（パンチボウル）には第一次・第二次世界大戦、朝鮮戦争、ベトナム戦争などで亡くなった兵士らが眠っています。この場所で献花式が行われました。</p>
3		<p>墓地管理責任者のジェイムズ・ホートン氏、森市長のあいさつの後、黙祷が行われ、続いて、関正史議長と森市長、次に東久邇信彦様と山本源太郎様、そして、丸山商工会議所会頭と原国際交流協会理事長が訪問団を代表して献花を行いました。</p>
4		<p>献花式の後、ワイキキ沖での花火打上げに多大なるご協力をいただいた故ダニエル・イノウエ上院議員の墓碑に花束を捧げてまいりました。</p>
5		<p>パンチボウルでの献花式の後、関正史議長が長岡市議会を代表して、ホノルル市議会のマーティン議長を表敬訪問しました。</p> <p>マーティン議長から関正史議長に就任祝いの言葉をいただきました。</p>

6		<p>関正史議長は、合併地域初の議長であり、各地域の特徴を生かしながら一つにまとめていきたいと抱負を語り、マーティン議長も、ホノルル市も地区ごとに違いがあるなどと共通の認識を示され、終始和やかな雰囲気の中で話すことができました。</p>
7		<p>夕方には、市内のカフェ・ジュリアというレストランの中庭で開催された両市長主催の夕食会に出席しました。</p> <p>夕食会には長岡市訪問団のほか、ホノルル市や米海軍の来賓、在ホノルル日本国総領事も出席されました。</p> <p>会場には長岡大手高校書道部の書が飾られ、両市長のあいさつや来賓のスピーチ、長岡少年少女合唱団や長岡アロハクラブのパフォーマンスが披露されるなど、とても賑やかでした。</p>
8		<p>訪問2日目の朝、ホテルまでホノルル市議会事務局のブランドン・ミツダ氏が迎えに来てくださり、ホノルル市議会手配のバスでホノルル・ハレ(市庁舎)に向かいました。</p> <p>関正史議長と握手をしているのがミツダ氏です。</p>
9		<p>到着後、ミーティングルームに通され、コーヒーとタロイモを使ったドーナツがふるまわれました。</p>
10		<p>意見交換会はホノルル市議会の議場で行われ、ホノルル市側はマーティン議長のほか、アン・コバヤシ議員、キャロル・フクナガ議員、ロン・メナー議員、トレバー・オザワ議員、ブランドン・エレファンテ議員に加え、市職員のグレン・タカハシ氏、キンバリー・リベリア氏が参加されました。</p>

11		<p>意見交換会では、どのような流れで進行するか、あらかじめホノルル市議会に送っていた長岡市議会議員の質問事項に対し誰が答えるかなどを打ち合わせしていただいていたようであり、スムーズな意見交換が行われました。</p> <p>議会運営や市政、地域住民との関わりなど様々な内容について理解を深めるとともに、議員同士の親睦にもつながりました。</p> <p>少々時間が足りないくらい活発に意見交換がされました。</p>
12		<p>意見交換の後は、市内視察に案内していただきました。</p> <p>マーティン議長の選挙区でもある、ノースショア（オアフ島北部の海岸地域）にあるワイメアバレーとハレイワの町を視察しました。</p> <p>ワイメアバレーは 5,000 種類もの熱帯植物や歴史的・文化的にも重要な遺跡がある自然公園です。</p> <p>現地職員のリチャード氏に園内ガイドツアーをしていただきました。</p>
13		<p>ハレイワの町では、昔ながらのハワイの町並みを見学することができました。</p> <p>マーティン議長からハレイワの町で成功した事業の一例としてマツモト・シェイプアイスの紹介があり、オーナーのマツモト・ノリコ氏のお話を聞いたり、シェイプアイス（かき氷）の試食をしました。</p>
14		<p>この日の夕方は、真珠湾のフォード島で行われた太平洋戦争終結 70 周年追悼式典に出席し、献花を行いました。</p> <p>代表献花では、スコット・スウィフト米国太平洋艦隊司令官、両市長に続き、マーティン議長の代理で出席されたキャロル・フクナガ議員と関正史議長で花輪を捧げ、その後、出席者全員による献花が行われました。</p>
15		<p>献花式の後、徒歩で 10 分ほどの追悼式会場に移動し、追悼式に出席しました。</p> <p>追悼式ではスウィフト氏や両市長のあいさつ、記念の盾の交換、黙祷などが行われ、式典のフィナーレとして白菊 3 発が打ち上げられ、戦争で亡くなられた方々のご冥福をお祈りしました。</p> <p>この献花式、追悼式は一般公開はされず、出席者は長岡市公式訪問団約 210 名のほか、ホノルル市及び米軍関係者</p>

		<p>でした。</p>
16		<p>訪問3日目も、朝ホテルまでホノルル市議会事務局のミツダ氏が迎えに来てくださり、ホノルル市議会手配のバスで視察に出発しました。</p> <p>KCCファーマーズマーケットとは、カピオラニ・コミュニティ・カレッジ(KCC)の駐車場で毎週土曜日の午前中に開催される市のことです。</p> <p>地元の農産物や加工品が販売され、たくさんの地元住民や観光客で賑わっています。</p>
17		<p>現地に到着すると、VIP席に案内され、マーティン議長、KCCファーマーズマーケットを主催するハワイ・ファーム・ビューロー最高経営責任者のブライアン・ミヤモト氏、カピオラニ・コミュニティ・カレッジ学長のレオン・リチャーズ氏などが合流されました。</p> <p>マーケットで人気の食べ物を試食しながら、地元農産物や加工品の販売方法、地域住民や観光客との関わり、カピオラニ・コミュニティ・カレッジの概要などについて様々な話を聴くことができました。</p>
18		<p>夕方4時から、フォード島内にある太平洋航空博物館で行われた平和・未来シンポジウムに出席しました。</p> <p>シンポジウムでは両市の平和・歴史関連5施設(アリゾナ記念館、ミズーリ記念館、太平洋航空博物館、山本五十六記念館、長岡戦災資料館)の代表者による施設・活動紹介と、両市の青少年5名による平和に関する意見交換会を見学しました。</p>
19		<p>シンポジウムの後、前日の追悼式典と同じ会場で行われた平和友好記念式典に出席しました。</p> <p>この式典は一般公開もされ、前日の追悼式典とは雰囲気が一転し、明るく賑やかなものでした。</p> <p>マーティン議長やホノルル市議会議員が家族で来られていたり、ハワイ州選出国会議員のマーク・タカイ氏の姿もあり、多くの方々と親睦を深める良い機会となりました。</p>
20		<p>式典では、ハワイ海軍地域司令官のジョン・フラー氏と両市長のあいさつ、青少年平和サミット参加生によるサミット宣言、両市の合唱団による合同合唱、平原綾香氏による歌の披露(ジュピター)がありました。</p> <p>最後を締めくくった長岡花火約2千発の打上げは、両国の友好を象徴するような選曲と、長岡らしい迫力ある花火構成になっており、観覧に来られていた地元の方々も、大きな歓</p>

		<p>声を上げて、楽しまれていたようでした。</p> <p>一連の公式行事を無事終えまして、16 日午後にホノルル空港を出発し、日本時間の 17 日午後 9 時 30 分過ぎに長岡に帰ってまいりました。</p> <p>今回の訪問は、ホノルル市議会議員との意見交換そして平和交流事業への参加と両市の友好を一層深める大変有意義な訪問となりました。</p>
--	--	---